

# 第59回 宇部市廃棄物減量等推進審議会議事録

・日時 令和元年8月27日(火) 18時00分から 20時00分

・場所 宇部市ときわ湖水ホール ミーティングルーム

## ・出席委員

(会長)	関 根 雅 彦				
	有 部 正 治		吉 本 信 子		
	新 谷 弘 昌		茂 山 守		
	高 松 克 志		安 井 敬 子		
	山 根 好 子		菅 野 弥 生		
	角 野 い づ み		藤 本 米 子		

## ・欠席委員

安 井 美 智	富 岡 英 雄
櫻 井 菜 穂 子	河 村 竜 太
中 野 陽 一	隅 田 典 代
田 辺 亜 由 美	阿 部 正 和

## ・事務局

市民環境部長	藤 崎 昌 治
市民環境部理事	平 山 純 子
廃棄物対策課長	上 田 康 次 郎
環境保全センター施設課長	川 崎 一 利
環境保全センター施設副課長	植 田 昌 吉
廃棄物対策副課長	河 口 育 太
廃棄物対策課ごみ減量推進係長	河 村 真 彦
廃棄物対策課ごみ減量推進係主査	池 田 忍
廃棄物対策課ごみ減量推進係主任	西 田 涼 子
廃棄物対策課ごみ減量推進係主任	齊 藤 和 幸

## ・資料

- 1 (資料1) 前回の審議会(制度見直しの妥当性)の確認事項
- 2 (資料1・別紙1) ごみ処理有料化によるごみ減量効果
- 3 (資料1・別紙2) 宇部市のごみ減量化に向けたこれまでの取組
- 4 (資料2) 料金体系の検討
- 5 (資料3) 料金徴収方法の検討
- 6 (資料4) 手数料の負担額についての検討

## ・次第・議事録

## 1 議題

- (1) 指定ごみ袋制度見直し理由の妥当性について
- (2) 手数料の料金体系について
- (3) 手数料の徴収方法の検討
- (4) 手数料の負担額についての検討

会長	本日の議題は4つ、(1)「指定ごみ袋制度見直し理由の妥当性」について結論を出すということ、他の3つは手数料の(2)「料金体系」、(3)「徴収方法」、(4)「負担額」についてだが、これについては(1)の合意が得られた後、(2)、(3)、(4)をまとめて説明してもらい、議論した方が良く考える。まずは、(1)の「指定ごみ袋制度見直し理由の妥当性」について、前回の意見の再確認をしてから議事に入りたい。事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料1】「前回の審議会(制度見直しの妥当性)の確認事項」説明 【資料1・別紙1】「ごみ有料化によるごみの減量効果について」説明 【資料1・別紙2】「宇部市のごみ減量化に向けたこれまでの取組」説明
会長	今、説明された内容に関して質問はないか。では順に意見をお願いします。
委員	私はここに書かれていることで納得できる。
委員	私も有料化に納得できる。
委員	私も有料化の妥当性について疑問はない。この理由を理解すれば市民も納得するだろう。
委員	私も有料化には賛成だが、市民は簡単には納得しないだろう。市民に対して納得できる説明ができるかどうか課題だ。
委員	有料化には賛成、家庭ごみについては有料化すれば減量になるだろう。
委員	私も今の説明で納得した。
委員	彫刻清掃のボランティアで大量の草が出るが、その場合のごみ袋はどうなるかということと、不法投棄が増えると思う。また、別紙2の8ページ「3010運動」が最近言われなくなったので、継続して取り組んでいただきたい。
委員	有料化は意味があると思うが、減量化については意識を高めて継続して行う必要があると思う。

委員	有料化はすべき。減量化は皆の意識を変える必要があると思う。
会長	他に意見はないか。
委員	市が市民の納得を得ず、勝手に手数料を決めた場合はどうなるか。
事務局	市の手数料は条例に基づいて決定され、条例は議会で審議され承認を得て定められる。よって、市が単独で決定できるものではない。
会長	各委員の発言から有料化については合意を得たと判断する。懸案事項として草木の処理と不法投棄の件、これまでの施策を継続しながら市民が納得できる説明ができるかということによろしいか。では、議題（１）の「指定ごみ袋制度見直し理由の妥当性」については合意を得たので、議題（２）、（３）について事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料２】「手数料の料金体系について」説明 【資料３】「手数料の徴収方法について」説明
会長	今の説明で何か質問はないか。
委員	宇部市の場合、指定ごみ袋は何社が納入しているか。
事務局	現在は主に２社が納入している。
委員	資料３の１４ページに伐採した木の枝などが袋に入れにくいとあるが、今はどのように出されているのか。
事務局	入るものは袋に入れて、入らないものについては紐等でくくって束にして出している。
委員	有料化となった場合、このように袋に入れられないものについて不公平が生まれるということか。
事務局	ご指摘のとおり。
会長	他はよろしいか、では議題（４）「手数料の負担額」について事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料４】「手数料の負担額について」説明

会長	<p>これまでに上がった草木の排出方法、不法投棄については大きな問題として別に議論したいと考えている。よって、本日は議題(2)、(3)、(4)のポイントを念頭に、各委員が有料化した場合にはこうすれば良いという形を議論していただきたい。</p> <p>これを事務局側で評価軸ごとに次回の資料として出していただければ、早い結論に繋がると考える。では、有料化した場合に各委員が考える形を順にお聞きしたい。</p>
委員	袋の大きさによって料金を変える排出量単純比例型が良いと思う。徴収方法は指定袋制、金額については全体の意見を聞いた後で検討したい。
委員	私も排出量単純比例型が良い。
委員	資料4の17ページにある料金水準表は、容量あたりの料金なので非常にわかりにくい。料金体系は排出量単純比例型が良いが、事業者へのごみ出しについて十分指導していただきたい。
委員	手数料の料金体系は排出量単純比例型が良い。徴収方法については、指定袋制が良いと思う。先ほど事業系ごみの話が出たが、事業者も市の搬入基準が厳しくなったため分別を徹底している。有料化することで費用的な負担は発生するが、数年後に減量効果を感じることができると思う。
委員	料金体系は排出量単純比例型、徴収方法は指定袋制、販売方式は一括購入・一括販売が良いと思う。
委員	料金体系は排出量単純比例型、徴収方法は指定袋制が良い。現状の指定袋の料金は1枚幾らか。また、最初から高い料金設定ではなく、段階的に上げるのが良いと思う。
事務局	大の袋(40ℓ)で約10円となっている。
委員	料金体系としては排出量単純比例型が良いと思う。県内で唯一、萩市が従量制を採用しているとのことだが、理由は何か。
事務局	採用の経緯は不明だが、年度初めの世帯の人数に応じて自治会経由で指定袋を配布している。
委員	市民の理解の得やすさと公平性からも排出量単純比例型、指定袋制、一括購入・一括販売が良いと思う。
委員	私も排出量単純比例型が良いと思うが、別紙1によると低い料金設定では効果的ではないとのことなので検討が必要。徴収方法は指定袋制、一括購入・一括販売が良い。また、現行の指定袋の容量を45ℓの丈夫なものにしていただきたい。

委員	料金体系は排出量単純比例型が良い。他の方法は運用コストがかかることと、袋を世帯配布する場合には大きさの需要が違うので把握が困難だと考える。指定袋制が良いと思うが、袋に入らない物に貼るシールがあればいいと思う。
会長	皆さんは排出量単純比例型を選択されたが、私は一定量無料型が良いと考えている。家庭から出るごみの量を2割減らせば減量目標達成だとすれば、8割の量までは従前の価格なり無料なりで袋を提供し、そこから先は1枚50円くらい出さなければ手に入らないと説明された方が私自身は非常に理解できる。つまり、ここから先は目標達成できないというラインを明確にしたほうが達成の意識がはっきりするのではないかと思う。ただ、このような案が行政コストにどう影響するのかわからないので次回この点についても教えていただきたい。
委員	会長の意見は良く分かるが、市民に理解されるかどうか。
会長	市民の意見を得られるかは判断条件の一つなので、次回トータルとして議論していただく。今回は各委員の意見を排除するのではなく色々な意見を出していただきたい。
委員	ごみ出しの度に大きい指定袋一杯に古紙などが分別されずに出されているのを見かける。こういう方には有料化することで減量の効果があると思う。また、袋の材質を紙にすることはできないか。
会長	材質の問題はコストの議論もあると思うので、その時にコストがわかる資料を出していただきたい。
委員	会長の言われる一定量無料型だと、資料3の14ページにある収集時の確認作業について、シール制になった場合はどうなるのか。
会長	私が考えるのは指定袋が無料でもらえるチケットを配り、チケットを超える部分については袋を購入していただく。この方法であれば袋を変える必要もない。
委員	承知した。この確認作業については実際に収集業者の意見を聞かれたか。
事務局	実際に収集業者に意見を聞いたわけではないが、先行実施している自治体の資料から実施にあたってのメリット、デメリットをまとめさせていただいた。
会長	排出量単純比例型の方が受入れられやすく、最初の段階から有料化が意識しやすいということであれば、最初から幾分か料金がかかっている、途中から高くなるとい

	う排出量多段階比例型も良いかと思う。
委員	ごみの減量化について市民を巻き込んで何ができるのかという議論も大事だと思うので、ここでその意見が出されるのも良いかと思うが。
委員	市民の意見ということについては、昨年あたりから「ごみ減量アイデアコンテスト」を実施されている。私としては結構市民を巻き込んでいると思う。
委員	補足だが、宇部市のリサイクル率は同一規模の他市と比較して全国的にも高い水準にある。リサイクルに関しては誇って良いくらい頑張っていると思う。
会長	これまで排出量単純比例型、排出量多段階型、一定量無料型についての意見は出たが、他の料金体系についての意見はないか。
委員	排出量多段階比例型はインパクトがあると思うが、まずは排出量単純比例型、例えば5年後の目標が達成できていなければ料金体系を変更すれば良いと思うが。
委員	これまでも様々な減量施策を講じてきたが、有料化以外の有効な方法がなかったので今回それを選択したと。目的はあくまで歳入を増やすことではなく排出量の抑制なんだと市民に説明すれば良い。
委員	前回の審議でごみ処理施設の老朽化の問題も出たので、その点についての説明もすれば市民も納得しやすいと思う。
会長	制度自体を途中で見直すという意見が出たが、順応的な見直しが可能かどうかについても次回の資料として情報提供していただきたい。この見直しに多くのコストがかかるなら他のことができないのか、または袋代でできるようになるのか、まとめていただければ次回の議論がやりやすくなる。また、各委員においては料金体系の検討についてご自身の考えと他に何が考えられるのかというのを次回までに検討していただき、そのうえで最終的な判断をいただきたい。では、これで本日の審議を終わりたい。